



# つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク  
発行責任者：阿部登代子  
つくば市千現 1-18-5-101  
Tel&Fax：029-859-0264  
tsukubahotnet@ybb.ne.jp

2009年10月13日 vol.20

<http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/>

## 税金を本当に必要などころへ!

### ～テーマ別部会の活動から、つくば市へ政策提案～

毎日の暮らしの中で、子育てや教育、介護、食、環境など、もっとこうだったらいいのと思うことがたくさんあります。市民ネットでは、そんな想いや考えを少しずつでも実現していきたいと、市民参加でまちづくりを進めています。

これまで、市の遺伝子組み換え作物の対応に係る方針、学校図書館司書補助員の全小学校配置、学園地区の住宅地の高さ制限（高度地区）、レジ袋無料配布中止協定などを実現してきました。また、大豆畑トラスト運動も実践中です。

#### ■ 聞いてみる！話してみる！やってみる！

今年からは**テーマごとに部会を設け、より多くのメンバーで活動**しています。

たとえば公共交通部会。つくバスを含めた公共交通の見直しに向け、市でもアンケート調査は行われていましたが、市民ネットでも独自アンケートを行いました。その結果から、**利用者である住民が参加しなければ本当に有効な見直しはできない**と考え、市民が参加して検討する場を設けることなどを盛り込んだ市民案を提出しました。

また、ごみ部会では、ごみ処理の実態や行政資料を調べ、関係機関の話を聞いたり、先行自治体の調査・視察を行っています。さらに**生ごみ減量を自分たちでも実践**しようと、メンバーでダンボールコンポスト（安価で簡単に生ゴミを堆肥化する処理方法）に挑戦しています。

他にも地域コミュニティ、教育、子育て・たすけあい、農業、障害福祉、公務員宿舎跡地問題などの部会を設け、調査や視察、話し合いを重ね、提案した

り自分たちで実践するなど色々な方法で取り組んでいます。

#### ■ あなたの参加がつくばを変える！

これらの活動の中で見えてきた課題をもとに、**私たちの税金が本当に必要などころへ使われるよう、毎年、市の予算編成に向け政策提案**をしています。「こんなつくばにしたい」と市民が考え、**とりまとめた政策**として、今年も9月に提出しました。（全文と昨年度の提案に対する市の回答はネットのホームページに掲載しています。

<http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/seisaku.htm>

今後は各担当部署を訪問して提案趣旨を説明し、議会でも代理人（市民ネット議員）を通して、実現に向け粘り強く市へ働きかけていきます。

政権が変わり、**地方自治体の主体性が行政のみならず、市民にも求められます**。多くの皆さんの声や参加がよりよいまちづくりにつながります。**あなたの参加でつくば市は変わります**。

#### 食品表示の改正にむけ 請願署名を行っています!

現在の表示制度の欠陥によって、そうとは知らずに食べ続けている現状。『安心して食べたい!』その願いを叶えようと「食品表示制度の抜本的な改正を求める全国請願署名」が始まっています! 請願署名は11月13日に集約し、衆・参議院の議長と各自治体へ提出します。署名にご協力いただける方はネット事務所 (Tel&Fax 859-0264) へお知らせ下さい。

署名用紙は下記からもダウンロードできます。

<http://homepage3.nifty.com/watage/afile/a298.htm>

## 子育て支援センター急浮上!

急速な少子高齢化に対し、国は10年以上対策を行ってきましたが、質・量共に充分ではなく歯止めがきかない状況です。



つくば市議会議員  
環境経済常任委員会所属  
ながい えつこ  
**永井悦子**  
の議会報告

### 一般質問項目

1. 男女共同参画推進政策について
2. 次世代育成支援政策について
3. 廃棄物処理政策について
4. 市民協働ガイドラインの  
ロードマップ作成について
5. サイエンスインフォメーション  
センターの活用について
6. 新庁舎について

つくば市でも平成10年の「つくば市エンゼルプラン」に始まり、平成17年には「次世代育成支援行動計画」がつくられ、翌年には「子育て総合支援センター」の整備計画が公表されました。しかし、整備計画は一向に進展せず、センターはお蔵入りとなっていました。

### 「子どもの育ち」を支える拠点に!

ところが9月の補正予算で、建設費として約3億円が計上され、子育て総合支援センター建設が急浮上してきました。つまり、国の緊急経済対策費が出されたのを機に建設するという流れです。

整備計画は、市民参加で作られており、センター機能として相談や交流の他に情報提供、プログラム開発、人材育成、総合コーディネートなど多岐にわたる内容が計画されています。

10代の子どもたちの居場所として、自分たちで企画や運営、体験の場とするのも盛り込まれており、思春期も視野に入れた幅広い計画でした。



今回、市は、センター建設は従来の整備計画をベースに進めるとのことですが、内容は不透明です。

### 複合的な支援センターが必要!

子育て支援事業は、利用者にとって本当に使いやすく効果的なものでなくてはなりません。気軽に子育ての相談や親子交流などができる、市内の子育てネットワークの要となる施設が望まれます。

また、子育ての前提として、男女共同参画社会の実現は重要です。**利用者にとっては子育てとあわせて男女共同参画についても相談できる複合的な支援センターが必要**です。

今議会で、せっかく造るのであれば、懸案中の男女共同参画センターを併設してはどうかという質問をしましたが、「市では考えていない」との答弁でした。

### 当事者の意見を反映した計画の見直しを

平成17年に作られた「次世代育成支援行動計画」は5年ごとの見直しを「次世代育成支援対策推進法」で定められています。つくば市では、5月に懇談会を開き見直しを始めており、今年度中に新しい計画を策定する予定です。

市は複合施設は考えていないとのことでしたが、工夫次第で可能だと思います。**市民参加で作られた計画は尊重され実施されるべきと考えます。**

**市民ネットは、当事者の意見や提案が充分反映されるよう引き続き働きかけていきます。**

### 使いやすい新庁舎になるの?

TX 研究学園駅西側に建設中の新庁舎は、床面積が現在の6庁舎を合計した3万㎡から2.1万㎡になるため、開庁当初から手狭になることが心配されます。

市民にとっての使い勝手はどうでしょう。ロビー、情報コーナー、各相談室、食堂、売店、授乳室、議会の傍聴スペースなどの配置、バリアフリーの状況、サインの分かりやすさなど気に掛かる箇所がたくさんあります。

今後は、施設整備の状況について、来年5月の開庁以前でも出来る限り情報を出してもらい、可能な限り市民の声を活かして、使いやすい庁舎にしてほしいと思います。

## より透明な入札制度へ!

今年7月、私は所属する総務常任委員会の視察で、三重県四日市市役所を訪れました。その折に、「**下水道の負債の一部を入札の差金で返済した**」という職員の話にひきつけられました。公共工事や物品調達は、それぞれの自治体が行なう入札で、より低い価格で請け負う事業者を決めています。差金というのは、予定金額に対し実際に請け負われた価格との差額です。

**四日市市では50万円以上の土木建設工事はすべて、競争原理が働きやすい一般競争入札で行なっている**ので、**工事費が低く抑えられています**。つくば市では現在3,000万円以上ですが、四日市と同じようにできないのでしょうか。

### 一般競争入札が地元企業を育てる

つくば市では指名競争入札がほとんどを占めており、**一般競争入札は入札全体の5%しかありません**。予定価格に対する落札額の割合は平成20年度で指名競争入札では94%、これに対し一般競争入札は84%で、**明らかに一般競争入札の方が低い価格で事業が行なわれています**。また、指名競争入札では参加事業者同士が事前に分かるため、談合の温床になってしまう可能性も無いとはいえません。

無駄を省き、費用対効果を高め、一般競争入札で出た差金をその他の必要な事業に回していく。さら

に市内の中小事業者が競争力をつけられるように技術指導や電子入札などの環境を整える部分に回していく。それが地元の産業を活性化し、市の税収をあげ、健全な財政豊かなつくばへと繋いでいくことになると思います。

つくば市議会議員

総務常任委員会所属

せと ゆみこ  
瀬戸 裕美子

の議会報告



一般質問項目

1. 入札について
2. 食育と学校給食について

### 変えなきゃ!入札

先行自治体の中には、土木建設工事はすべて一般競争入札を実施し、入札の経緯が誰にでもわかるように必要な情報をインターネット上に開示したり、つくば市では公開されていない随意契約も、ネット上に詳しく公開して、透明性を高めているところもあります。今後も、**つくば市の入札制度の改革と情報開示を求めています**。

## 学校給食 自校式は高くない?!

つくば・市民ネットワークは、学校給食について自校式のほうがセンター方式に比べ、食育・地産地消などの面で優れている点が多いと主張してきました。また新たに建設される学校に自校式給食を取り入れてはどうかと提案してきました。しかし、市教育委員会は、効率、経済性を理由にセンター方式を今後も続けるとしています。

自校式にすると人件費が高くなるのでは?と考えがちですが、実はセンター方式で必要な配送委託料や配膳員が自校式では不要になるので、安くなるのです。市民ネットで試算したら、年に1億3700万円安くなりました。また、施設工事費は、1校当たり1~2億円程度で、様々な委託が必要な大規模センターと比べ、さほど変わらない計算になりました。



このように自校式はセンター方式に比べて、決して高くはないことがわかりました。老朽化して建替えが必要になったセンター管轄の学校から順に切り替えていけば、無理なく自校式へ転換できるのです。

子どもたちにおいしくて安全安心な給食を食べさせたい、自分が育った土地で取れた食材をふんだんに使った献立を味わってほしい、作り手と心が通じ合うような環境で食べさせたい。食べることは「生きる」基本だから。

## 傍聴席から

本議会最終日の傍聴に行ってきました。傍聴席は2階から議会を見下ろすようになっていて、TVで見る国会の議場のミニチュア版のようなつくりがちよっと感動します。

でも、議事進行は、多数決でどんどん決めてしまっているのでしょうか？我が市民ネットの永井議員が、大阪府知事の発言を引用し『ぼったくりバーと一緒にありませんか！』と工事費用内訳の開示を求め抗議しているのに、多数決でスルー？？？詳細を開示されないまま庶民の血税が使われていくのって納得できません。

ちなみに傍聴人には「傍聴人心得」で規制が多くじーっと座ってなくちゃいけないのに、議員同士はおしゃべりしたり、野次飛ばしてもいいんですね。黙って聞いている側としてはとても不愉快でした。

もっと多くの市民に傍聴してほしい。自分の目で議員の意見を聞き、自分の意見を代弁してくれる人を議員に選んでほしいーと思いました。

(荃崎：Y. K.)

### つくば・市民ネットワークの主な活動報告

- 7/1、9/11 公共交通活性化協議会傍聴
- 7/2 総合計画審議会傍聴
- 7/3 道路交通体系整備特別委員会(瀬戸)
- 7/4、11 バス交通網再編に係る地区懇談会参加
- 7/8、22、9/16 地産地消議員学習会(瀬戸、永井)
- 7/9、9/3 安心安全調査特別委員会視察(永井)
- 7/10 遺伝子組み換え展示栽培の中止を求める申入書提出
- 7/11 大豆畑トラストつくば(種まき)
- 7/15～17 総務常任委員会視察(瀬戸)
- 7/23、8/21、9/30 環境審議会傍聴
- 7/24、7/28、8/22 議員と話そう会
- 7/26 市民と議員の条例づくり交流会議参加
- 7/27、9/28 一般廃棄物減量等推進審議会傍聴
- 7/30 学校給食全国集会参加
- 8/5 ワークショップ「ゴーゴーバイオマス」参加
- 8/8 第3回3Eフォーラム参加
- 8/9 全国障害者問題研究会参加
- 8/18、9/17 行政経営懇談会傍聴
- 8/20 遺伝子組み換え圃場見学会参加
- 8/21 環境経済常任委員会(永井)
- 9/1～18 9月議会
- 9/26 自転車マップ作成ワークショップ参加
- 9/27 防災訓練



## 男女共同参画社会推進

# 先ずは役所から変革を!

男女が共に自己の能力を充分発揮できる男女共同参画社会を目指そう!—といわれつつ、なかなか意識の変化がすすんでいないのが現状です。

H19年につくば市役所職員の意識調査が行われました。その中に「今後女性が管理職に就く機会」に関する問があり、「増えると思わない理由」として、女性が多く選んだ理由が「制度が不十分」、次に「受け入れない雰囲気がある」です。男性が多く選んだのは「女性は仕事に対する姿勢が甘い」でした。この様な結果から『男女共同参画の重要性は理解しているが、現実には女性が力を発揮しにくい現状や男女の認識のズレが未だにある』という状況がうかがえます。

また、『つくば市が男女共同参画宣言都市』『担当室が設置されている』『相談業務を実施中』とは知らなかった—と回答した職員が男女とも半数という結果に驚かされました。市職員は、様々な事業を通して男女共同参画推進を市民へ周知・啓発する立場にあります。H9年からほぼ5年ごとに計画は見直されてきましたが、一向に進まないばかりか、担当が「課」から「室」へ縮小され、**男女共同参画センターの設置など実現していない事業や積極的推進が必要な施策は多々残されたまま**です。

まずは役所内で積極的に取り組み、課題解決の糸口を見いだせるよう求めていきます。

## 有機農業映画祭

有機農業は単に「農薬や化学肥料を使わない農法」にとどまらず、農一食一環境を繋ぎ、持続可能な社会をつくれます。多くの人たちが「映画」を通して、有機農業の可能性を見つけられるよう願っています。

**11月1日(日) 13:30~17:00**

**筑波学院大学 大教室**

前売り：一般 ￥1000

大学生 ￥500

高校生以下無料



主催：茨城県南有機農業映画祭実行委員会

※当日、旬の有機野菜を抽選でプレゼント!

ネット事務所にチケットあります。